

「農業生産法人 国立ファーム株式会社」の高橋がなりです。人が真似できない「もの」を創っている「ものづくり」が一番偉い！という価値観を師匠のテリー伊藤に押し付けられた僕は、今までは生産者の方々にお会いした際、必要以上に腰が引けていました。この連載でも語尾が弱ってしまう自分が、自分らしくなくて嫌でした。

ですが、変わりますよ！なぜなら農業生産法人の資格を取得出来たからです。これからはドンドン農地を取得して、ドンドン付加価値のある農業を営んで、皆さんに発破を掛けられる農業経営者になります。

「そんな旧式の生産してからお前らカッコ悪いんだよ！」「そんな売り方してつからお前んとこは儲からねえーんだよな！」って、早く言えるようになりたいですね。生産から販売まで農業関連ビジネスを一貫して語れるのは、日本に高橋がなり一人しかいないと言わしちやいますよ！

生産法人の資格を取っただけで、ハイテンションになっちゃっているんですが、まだまだなんですよ。僕ももうすぐ50歳です。20代なら妄想で強気に語れるんですが、経営者は結果ということをよく知っちゃっていますんで、もう少し本性を見せるのは我慢しておきます。

ということ、語尾を弱めて今回も実績のない男が実績が出来るまでの能書きを垂れさせて頂きます。今回の能書きは「出来ないことはない」。

先月、4日クラブで講演をさせて頂いた際にも、参加した若手の生産者たちに「がなりさんの言うことはごもつともだが、理想論でしかない。俺たちも変えたいが諸事情で出来ないんだ！」とやっぱり言われてしまいました。どうも農業業界にやってきましたから「出来ない」という言葉を

正論のように聞く機会が増えてしまったように思います。その多くは「自営業だから手が回らない」という理由が基本心理にあるようです。ならば農業生産法人に生産者として入社するべきだし、もしくは経営感覚を身に付けた生産者として個人経営者になるべきだと考えています。

皆さんは何の行動もしない人が「出来ないから」と言ったら、「やらないだけ」だと思いませんか。皆さんが社長で、自分の業務命令に「出来ません」と言う部下に高給を払いますか。僕は常に消費者を上司だと思つてビジネスに取り組んでいます。だから「出来ない」は言えません。

言えば上司である消費者にとって僕の存在価値がなくなるからです。昨年までの社員教育を一言で言う

と「出来ないことはない！」という洗脳でした。姿勢を矯正するという難しい教育です。だからこの教育のために自分の1年間という貴重な時間と5億円を浪費して、さらに20人ほどの脱落者を出しました。

それでは「出来ないこと」を出来るようになるための努力とはどれほど大変なものなのでしょうか。僕の答えは「時間は掛かるが簡単」です。ただし、2つの条件が必要になります。ひとつは多くの人間が出来るようになることを望んでいること、そしてもうひとつは出来ないという理由を認めないことです。

50ピースのパズルを思い描いて下さい。49ピースが入ったのに、あと1つが入らない状態です。ここで「完成出来ない」と言いたくなりませんが、グツと我慢して1回全部を崩すんです。この状態に戻しても「完成できない」という奴は意気地なしです。A V改革は100ピースのパズルを50から作り直しました。ダメダメの業界でしたが、A Vを愛している業界人とお客様という基盤は利用出来たからです。農業改革パズルは1万ピースですが、9900は真つ当に出来上がっていると思えます。残りの100ピースは国や団体に対する生産者の依存心です。これを自立心に入れ直すだけの努力で「出来る」と思っています。

国立ファーム株式会社

国立ファーム株式会社

高橋がなりの

アグリのオサム

~早く「虎」に変わるんだ！~

第12回

農業界、出来ないことはないんです！